

山川端夫文書目録(マイクロフィルム)

リール

一、又毛 九月十八日〜十一月二十五日(日支事件発生ノ原因) 一点

二、昭和七年六月十三日豫算委員会秘密会ニ於ケル質問要項 一点

三、又毛断片 一点

四、才十三回通常総会挨拶 一点

五、九年三月十七日品川教育会ニ於テ(聯盟脱退後ノ形勢) 一点

六、八年六月三十日明治学院学生支部(脱退ノ影響)他) 一点

七、二四三、英上院議員及其子 (聯盟起因)他) 一点

八、又毛 一月二十五日〜三月十七日 一点

九、又毛 四月十日〜十九日 一枚

一〇、二四三、英上院議員及其子(聯盟成立ノ直接原因)他) 一点

一一、講和条約才二十二集 才百十八集 才十九集 一点
(大正八年五月七日)

一二、又毛 二月十八日〜三月十四日 一点

一三、墨西哥 支部 一点

一四、二四三、英上院議員及其子(聯盟の起因) 一点

R1

R1

一五、又毛 七年十月十五日 高師地理科講習生ニ対シテ 一点

一六、又毛 十二月二十四日〜二月二七日 一枚

一七、書翰 礼状 一通

一八、又毛 日本ヨリノ輸出 一点

一九、新聞切抜 日英綿業戦縮図(才五五十九号) 一枚

二〇、同文新聞切抜 一枚

二一、新聞切抜 昭和八年九月二十一日 一枚

二二、又毛 日印関係他 三十八年〜四十四年 一点

二三、又毛 浅沢子ノ薨去(十月十日)他 一点

二四、昭和七年六月二十一日 中央大学ニテ講演 一点

二五、サント・ドミンゴ 一九一六年四月 一点

二六、昭和八年十一月九州講演(聯盟脱退後ノ状勢) 一点

二七、昭和八年一月三十日 昭和協会 一点

二八、大正十年十一月十九日ニ於ケル又毛 一点

二九、書翰 一通

三〇、又毛 (同文一) (六) 二点

R1

R1

三ノ七 (七)

一点

三ノ七 埃及他

一点

三ノ七 脱退ノ結果起リ得ヘキ諸問題

一点

三ノ七 滿州問題ノ原因

一点

三ノ七 聯盟ノ目的

一点

三ノ七 十二月十五日〜一月十三日 覚書

一点

三ノ七 九月十八日〜十二月十五日 覚書

一点

三ノ七 四月三十日〜七月一日

一点

三ノ七 昭和八年九月二十日〜七日 神戸姫路岡山広島

一点

三ノ七 国際貿易ノ障害

一点

三ノ七 世界経済会議

一点

三ノ七 八年六月二日及三日 大阪及和歌山ニ於テ

一点

三ノ七 昭和九年五月一六月 松本長野富山高岡金沢福井敦賀

一点

三ノ七 採掘覚書

一点

三ノ七 委員会ノ任務

一点

三ノ七 五月二十九日 常磐松小中学校父ノ会

一点

恩勸告書ノ実体

一点

只国際連聯ノ出現他

一点

兎満州問題

一点

吾对聯盟關係

一点

五 聯盟脱退後ノ状勢

八月十五日名古屋

教化団体

一点

五 又々

一点

五 婚約披露案内

山川夫妻宛

武富敏彦

一通

五 葉書

山川端夫宛

金井清

一枚

五 葉書

一枚

五 英文書翰

十三四二四

Fr. Baty

1

五 七 新年英文カード N. Shigematsu

1

五 葉書

長谷川久一 鈴木六郎

山川端夫宛

三枚

五 葉書

K. Nishida

田中某 森田寛蔵

山川宛

4

六 葉書

表山川端夫宛

外務省 重光議長宛 山川宛 須磨弥吉郎

六 名刺

安田銀行

益川熊一郎 他二枚

三枚

六 山川端夫宛

藤井慶三 地震見舞状 二月十日

一枚

R1

R1

三書翰断片 震災消息

一枚

六名刺 城友二 大正十三年一月「コロンボ」領事館 一枚

五書翰 山川宛 熊雄 就職依頼の件 一通

六名刺 佛文 一九二四 A. C. Inouye 一枚

六山川宛 又毛 T. Baty 一点

六山川端夫宛書翰 加藤三郎 五月三日 一通

六山川宛書翰 一九二四、五、一六 T. Baty "

七山川宛書翰 T. Baty 一九二四、四、五 "

七山川端夫宛 新年挨拶状 荒井金太 廿三、二 一通

三覚書 永代借地権云々 三枚

三覚書 船舶云々 一点

七明治三十七、七、七勅令才三百三十三号ニ対スル独逸国ノ抗議要項 一点

五葉書 山川宛 九、二五 西野勝蔵 一枚

六大正十三年四月首高衡平待遇問題ニ関スル研究会成案 一枚
(英文) 国際聯盟協会事務所

七覚書 海軍関係云々 次官 竹下 一点

R1

R1

六、ウイルソン追悼講演会案内状 大正十三年二月十六日 一枚

国際聯盟協会

七、葉書 国際聯盟入会申込 大正十年 同文一 二枚

八、会員の増加と雑誌「国際知識」 一点

九、パンフレット 会員諸賢にお願ひ申上ます 大正十三年六月 一枚

一〇、相互援助條約案假託 国際聯盟係 一点

一一、陸空海軍歳出表 一点

一二、第廿四回研究会案内 大正十二年七月三日 国際聯盟協会研究会 一枚

一三、大正十三年度豫算 (自大正十三年四月至大正十四年三月) 国際聯盟協会 一枚

一四、大正十二年度会計報告 (自大正十二年四月至大正十三年三月) 国際聯盟協会 一枚

一五、国際聯盟協会 会務報告 (大正十二年四月至大正十三年三月) 一綴

一六、会計報告 第十九輯 自大正十三年三月一日至大正十三年三月廿一日 一綴

一七、山川宛 井出謙治書翰断片 七月十三日 同文一 二点

一八、各覚書 電信云々他 一点

一九、山川宛 紹介状依頼 加藤外松 大正十三年五月廿二日 一枚

二〇、山川宛 国際聯盟協会 会務報告通知 二月二十四日 一枚

R1

R1

九三衆議院議員立候補者に対する宣伝並に質問状 徳川家達 渋沢栄一 二枚

五会務報告第十七輯 (大正十二年十月二十三日 十三年一月二十四日) 一点

五会務報告第十八輯 (大正十三年一月二十五日 二月二十九日) 一点

五国際聯盟協会第四十二回理事会延期報告 山川宛 加藤外松 三月十日 一枚

五国際聯盟協会帝国大学々生支部発会式案内 一枚

山川宛 大正十三年五月二十日 国際聯盟協会事務所

五国際聯盟協会聯合会案内 山川宛 加藤外松 大正十三年五月十日 一枚

五国際聯盟協会第四十一回理事会案内 山川宛 渋沢栄一 一月二十日 一枚

五国際聯盟協会第四十二回理事会案内 山川宛 渋沢栄一 大正十三年三月十日 一枚

五 〃 〃 〃 大正十三年三月十日 一枚

五 昭和四年四月十日付 杉村陽太郎氏来翰意見送附シテ 一点

五月一日 石井 阪谷 添田 宛 山川 端夫

五 聯盟軍縮部長コルバン氏宛米田華盛頓市ブライット (A. Brillant) 氏 一点

来翰要領 (一九二九年二月) 原田健氏記述 送附ニ付テ

石井子爵宛 杉村陽太郎 昭和四年二月二十八日

五 大正十三年四月二十日 山川宛書翰 鶴見左吉雄 一通

(財団法人啓明会常務理事)

五 山川宛書翰 濱崎 正明 (履歴書在中) 一月二十七日 一点

五 山川宛書翰 原口園一 五月二十四日 一通

五 " " 井上勝之助 一通

五捺印依頼 貴族院事務局 会計係 昭和十五年十月廿一日 一枚

一 山川宛 日本放送協会謝礼通知 昭和十五年十月廿一日 添状二十日 差出人不明 一点

一 山川宛 慰勞金 財団法人人口問題研究会長 佐々木行忠 昭和十五年十二月 一通

一 山川執事宛書翰 五月三日 菊二 一通

一 第四十回帝國議會 貴族院彙報 第七號 大正十三年一月三日 一点

一 山川宛 府會議員改選立候補通知 脇田勇 大正十三年五月二十日 一枚

一 三協一協会開催通知 五月二十三日 一枚

一 国民对米大会開催出席願 大正十三年六月二日 一枚

一 三覺書 二点

一 六 昭和五年一月八日 十月二十日 手帖 八五類 一冊

一 七 總会開催通知 山川宛 國際聯盟協會之長 漢文第一 (四回總會次第) 大正十三年四月十六日 二枚

一 八 第三十回研究會開催案内 二月二十日 國際聯盟協會研究會 一枚

二九 評議員増員の件 大正十一年四月十日 国際聯盟協会 一枚

三〇 船舶合同実行意見書 太刀川又八郎 大正十三年五月十三日 一部

三一 永井通商局長容態 山川條約局長宛 山崎秘書官 二月七日 一枚

三二 三年末賞子納税通知 大正十一年十一月廿日 松平 官出條約局長宛 一枚

三三 山川宛書翰 二月十四日 義雄 一通

三四 年未賞子納税通知 大正十一年十一月廿日 松平次官 山川條約局長宛 一枚

三五 新聞切抜 五二四三言 The New York Times Foreign Affairs 同文 三枚

三六 山川宛書翰 十七日 差出人不明 一通

三七 複写 MIYAKA 宛 Ernest Wilkinson 一九二四・四・二二 一枚

三八 山川宛叙勲祝 大正十三年六月二日 稻畑勝太郎 一枚

三九 第四十八回帝国議會 衆議院公報 第四号 大正十一年十二月十八日 一点

四〇 第四十八回帝国議會 衆議院議案經過録 大正十三年二月一日 一点

四一 新聞切抜 自衛権の発動他 昭和七年一月十日 時事新報 八枚

四二 雜報 四八 大正十三年五月二十一日 三点

四三 新聞切抜 昭和七年二月十八日他 六枚

四四 〃 (英文) 同文 一九二四・一・二四 The New York Times 三枚

R1

R1

三 健児聯盟に告達す 昭和七年七月一日 一枚

三 宣言人生と表現社 大正十二年十二月八日 一点

三 雑報 四六 五六 大正十三年五月二十一日 首頁十六頁 一点

三 JAN VAN SCOREL G. J. HOOGEWERFF 一点

三 国際法ノ将来ト我國民ノ覚悟 一点

三 「土」日本の立場 一点

三 亮メ毛断片 一枚

三 日本ノ勃興ノ国際法觀念ニ及ホセル変化 一枚

三 The United States and other Powers 一九三六.二.〇五.三三 一冊

リール二

一 昭和四年 卓上備忘曆 一月一日より十一月二十八日 一綴

二 昭和五年 卓上備忘曆 七月十九日より十二月三十日 一綴

三 山川端夫著「倫敦海軍軍縮會議の成果」
昭和五年九月 国際聯盟協會発行 一冊

四 亮メ毛 一月六日より十二月廿六日 一綴

リール三

一 大正十五年手帳 一月一日より十二月三十一日 一冊

R1

←→ R1

R2

←→

R3

二昭和三年七月手帳 覚書 同文十枚 二十枚

三昭和三年七月手帳 覚書 一冊

四昭和三年(一九二八)一月〜十二月手帳 一冊

五覚書手帳断片(在所控他) 一点

六昭和四年日記(手帳)一月七日〜十二月二十三日 一冊

七昭和四年十二月二十七日〜昭和五年十月二十一日手帳 一冊
一九三〇年日記

八昭和六年日記(五三二)一月〜十二月手帳 一冊

九昭和七年日記(一九三三)一月〜十二月手帳 一冊

一〇昭和八年日記(一九三三)一月〜十二月手帳 一冊

リール四

一昭和九年日記(一九三四)一月〜十二月手帳 一冊

二昭和十一年日記(一九三六)一月〜十二月手帳 一冊

三昭和十二年日記(一九三七)一月〜十二月手帳 一冊

四昭和十三年日記(一九三八)一月〜十二月手帳 一冊

五昭和十四年日記(一九三九)一月〜十二月手帳 一冊

R3

↔ 4-113

4-114

六 昭和十六年日記 一月〜十二月 手帳

一冊

リール五

一 昭和十七年日記 前年十二月〜十七年十二月 手帳

一冊

二 特殊鋼協議会々員

一綴

三 覚書 手帳

一点

四 西原借款明細書 新南切抜

一枚

五 覚書 手帳

一点

六 倫敦海軍軍縮會議の成果 山川端夫著 表紙

一冊

七 新南切抜 外交顧問決定について 美佐子宛 山川添付状

二枚

八 美佐子宛 山川添付状

一枚

九 倫敦海軍軍縮會議の成果 山川端夫著 表紙

一枚

一〇 私の足跡 山川端夫著

一冊

リ-115

リ-115

←→リ-114